

「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)※」

2013年4月3日の基準価額の下落について

※「マネープールファンド」を除く

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年4月3日の「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)」(以下、ファンド)の基準価額の下落についてご案内いたします。以下にファンドの基準価額の動きと投資対象市場の動向についてご説明いたします。

1. ファンドの基準価額の動きについて

2013年4月3日時点の各ファンドの基準価額の動きは次の通りです。

| ファンド名称 | | 2013年4月2日 基準価額(円) | 2013年4月3日 基準価額(円) | 騰落率(%) (4月2日比) |
|-------------|--------|----------------------|----------------------|-------------------|
| 円コース | 毎月分配型 | 11,961円 | 11,469円 | -4.1% |
| | 年2回決算型 | 12,788円 | 12,268円 | -4.1% |
| 豪ドルコース | 毎月分配型 | 13,629円 | 12,932円 | -5.1% |
| | 年2回決算型 | 19,080円 | 18,112円 | -5.1% |
| ブラジルリアルコース | 毎月分配型 | 8,990円 | 8,466円 | -5.8% |
| | 年2回決算型 | 15,617円 | 14,716円 | -5.8% |
| 南アフリカランドコース | 毎月分配型 | 9,233円 | 8,798円 | -4.7% |
| | 年2回決算型 | 13,436円 | 12,792円 | -4.8% |
| トルコリラコース | 毎月分配型 | 8,617円 | 8,199円 | -4.9% |
| | 年2回決算型 | 12,671円 | 12,055円 | -4.9% |
| 資源国通貨コース | 毎月分配型 | 9,394円 | 8,903円 | -5.2% |
| | 年2回決算型 | 11,575円 | 10,970円 | -5.2% |
| アジア通貨コース | 毎月分配型 | 10,244円 | 9,696円 | -5.3% |
| | 年2回決算型 | 12,064円 | 11,419円 | -5.3% |

—上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。—

2. 主な基準価額の下落要因となった市場環境について

3月29日(金)、4月1日(月)はルクセンブルクの銀行の休日となりました。そのため、「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)」の4月2日の基準価額には、3月28日の外国投資信託の純資産価格(同日の株価、為替を反映)が反映され、翌4月3日の基準価額には4月2日の外国投資信託の純資産価格が反映されました。その結果、4月3日の基準価額の前日比は、3月29日、4月1日、4月2日の3営業日分の市場価格の変化が反映された外国投資信託の純資産価格の変化率が反映されることになり、変化率が大きくなりました。

| 当ファンドの基準価額算出日 | 3月29日 | 4月1日 | 4月2日 | 4月3日 |
|---------------------|-------|-------|------|------|
| 反映する外国投資信託純資産価格の算出日 | | 3月28日 | | 4月2日 |
| 日本株式市場の評価日 | | 3月28日 | | 4月2日 |
| 為替市場の評価日 | | 3月28日 | | 4月2日 |

日本の代表的な株式指数であるTOPIX(東証株価指数)において、3月28日から4月2日までの変化率は▲4.4%となりました。外国為替市場における円高基調や、市場予想を下回る米経済指標の発表、機関投資家による利益確定売りなどが背景にあったものと見られます。しかし4月3日には日本株式市場に対して強気ムードが広がり、大きく反発しました。3月28日から4月2日にかけての外国為替市場では、米景気に対する過度な楽観論が後退したことや、日銀金融政策決定会合を控えて様子見ムードが広がったことなどから、主要通貨に対して円高が進行しました。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合や外国為替予約取引等を活用する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

TOPIX(東証株価指数)と為替(対円レート)市場の騰落率

| 株価 | | 2013年 3月28日 | 2013年 4月2日 | 3月28日から 4月2日の騰落率 |
|---------------|-------|----------------|---------------|---------------------|
| TOPIX(東証株価指数) | | 1036.78 | 991.34 | -4.4% |
| 為替 | | 2013年 3月28日 | 2013年 4月2日 | 3月28日から 4月2日の騰落率 |
| | 資源※1 | | | |
| | アジア※2 | | | |
| 豪ドル | ● | 98.24 円 | 97.16 円 | -1.1% |
| ブラジルレアル | ● | 46.75 円 | 45.93 円 | -1.7% |
| 南アフリカランド | ● | 10.17 円 | 10.11 円 | -0.6% |
| トルコリラ | | 51.81 円 | 51.38 円 | -0.8% |
| 中国元 | | 15.15 円 | 14.98 円 | -1.1% |
| インドルピー | | 1.73 円 | 1.71 円 | -1.2% |
| インドネシアルピア | | 0.0097 円 | 0.0095 円 | -1.6% |

※1「資源国通貨コース」は、円建て資産を、原則として対資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3か国の通貨バスケット)で為替取引*を行ないます。

※2「アジア通貨コース」は、円建て資産を、原則として対アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3か国の通貨バスケット)で為替取引*を行ないます。

*保有する円建て資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

上記の期間は、4月3日の基準価額の変化に対応した期間です。

(出所)ブルームバーグデータ、ノムラ・バンク(ルクセンブルク)エス・エー提供のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

3. (ご参考)TOPIXの推移

TOPIX(東証株価指数)は2012年11月中旬から上昇傾向で推移しました。足元では、2013年3月21日をピークに下落傾向で推移しましたが、4月3日は再び上昇に転じました。

(ご参考)TOPIX(東証株価指数)の推移

(期間: 2012年3月30日~2013年4月3日、日次)



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合や外国為替予約取引等を活用する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替ヘッジ手法の異なる7つのコース(円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の15本のファンドから構成されています。

※ファンド名にある「日本ブランド株」とは、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式を指します。

- 各コース(マネープールファンドを除く7つのコースを総称して「各コース」といいます。)

◆【円コース】

中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

【豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース】

高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。

- ◆わが国の株式を実質的な主要投資対象[※]とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」には、為替ヘッジ手法の異なる7つのコースがあります。

| 各コース | 各コースが投資対象とする外国投資信託の為替ヘッジ手法 |
|---------------------------------|---|
| 円コース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産に対し、為替ヘッジを行いません。 |
| 豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産を、原則として対豪ドルで為替ヘッジを行いません。 |
| ブラジルリアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産を、原則として対ブラジルリアルで為替ヘッジを行いません。 |
| 南アフリカランドコース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産を、原則として対南アフリカランドで為替ヘッジを行いません。 |
| トルコリラコース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産を、原則として対トルコリラで為替ヘッジを行いません。 |
| 資源国通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産を、原則として対資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)で為替ヘッジ [※] を行いません。 |
| アジア通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型) | 円建て資産を、原則として対アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)で為替ヘッジ [※] を行いません。 |

※保有する円建て資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- ◆通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資を中心とします[※]が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

●マネープールファンド

- ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。

- ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象[※]とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。

- ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

- 「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

また、毎年4月および10月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があるにご留意下さい。

◆年2回決算型

・各コース

原則、毎年4月および10月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド

原則、毎年4月および10月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合や外国為替予約取引等を活用する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、株式および債券等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該株式の発行会社および当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また各コース(円コースを除く)は、投資対象とする外国投資信託において円建て資産を対各通貨でそれぞれ為替ヘッジを行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成31年6月23日まで

| | |
|--|--------------|
| 円コース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、マネープールファンド | 平成21年4月23日設定 |
| 資源国通貨コース、アジア通貨コース | 平成23年1月17日設定 |
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。【年2回決算型】年2回の決算時(原則、4月および10月の22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ● ご購入単位 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitching 【マネープールファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

| | |
|--|--|
| 円コース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、資源国通貨コース | ○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・サンパウロの銀行(ブラジルレアルコースのみ) ・ブラジル商品先物取引所(ブラジルレアルコースのみ) |
| アジア通貨コース | ○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金の申込みの受け付けを行なわないものとして委託会社が指定する日の場合 |

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

【当ファンドに係る費用】

(2013年4月現在)

| | |
|--------------------------|--|
| ◆ご購入時手数料 | ご購入価額に3.15%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 ※詳しくは販売会社にご確認ください。 |
| ◆運用管理費用(信託報酬) | 【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.924%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.624%程度(税込) ※各コースのファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.5775%(税抜年0.55%)以内(平成25年1月11日現在年0.021%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| ◆その他の費用・手数料 | 組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| ◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む) | 【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。 |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★
http://www.nomura-am.co.jp/

★携帯サイト★
http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合や外国為替予約取引等を活用する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。